

## 第1回蟹江町総合交通戦略推進協議会 議事要旨

開催日時	平成30年11月26日(月) 午前10時～午前11時
開催場所	蟹江町役場 3階 協議会室
出席者	会長始め委員14名・オブザーバー2名(代理出席含む)、事務局

### 開催内容

#### 1 挨拶

- ・河瀬副町長、嶋田会長より挨拶

#### 2 委員・オブザーバー自己紹介

- ・各委員・オブザーバーより自己紹介

#### 3 議事事項

##### (1) 現況整理について

- ・事務局より資料1に基づき説明

[質疑応答：○…委員・オブザーバー、●…事務局]

##### ○ 委員

資料で整理されている鉄道、バスの他に、タクシーも公共交通の一部だという認識を持っている。高齢化の中、よりきめ細かい交通網を構成していくにあたり、タクシーやタクシー車両を使った交通が1つのキーワードになってくると思うので、今後そのような視点で考えていくとよいのではないかと思う。

##### ○ 会長

町の地域公共交通会議などがあれば、バスに加え、タクシーについても議論するとよいかと思う。なければ、この会議で検討させていただければ。

##### ○ 委員

・4ページ『自動車保有台数と運転免許人口』の1つ目のポツで、「世帯当たりの自動車保有台数は減少傾向にあり、自家用車を持たない世帯が増加している」と記載があるが、この資料だけではこれは読み解けないと思う。そういった情報が別にあるのか。

・7ページ『町内・町外の移動状況』の図で、内々移動のバスの分担率について、トリップが

ゼロとなっている。ただ、出典資料のパーソントリップ調査の年次が平成23年度ということで、当時公共バスがなかったといったことも考えられるが、それに関する情報はるか。

○ 会長

1つ目の質問について、自動車を持たない世帯数のデータはあるのか。

● 事務局

・今回の現況整理では、自動車を持っている世帯数のみ把握しており、自動車を持っていない世帯数までは整理できていなかったため、今後作業を進める中でそういった視点も踏まえて整理していきたい。

・内々移動のバストリップがゼロということについては、パーソントリップ調査はアンケート対象者がバスを利用していなかった場合、その回答に対して拡大係数をかけているため、そのアンケートの回答者の意見が町全体の意見という形で反映される。そのような理由で、バスがゼロという結果になったと考えられる。ただ、5ページ『バスの利用状況』を見ると、平成23年度にお散歩バス、飛島公共交通バスは一定数の利用者がいるので、パーソントリップ調査の数値と実際の利用者数で乖離があるが、公共バスの利用者はある一定数は確保できている。

○ 委員

7ページ『町内・町外の移動状況』について、お散歩バスの数字は分類上「バス」として含まれているのか。

● 事務局

含まれている。

○ 委員

平成23年度のパーソントリップ調査は7年近く前で古いデータである。今後、アンケートや実態調査の結果を、例えば7ページのその他交通の状況に反映していくのか。

● 事務局

今後、そういった各種データを可能な限り反映させていく予定である。

○ 会長

併せて、7ページのパーソントリップ調査結果について、過去からの推移、いわゆる手段分担率がどのように変化してきているかというデータもあるとよい。

○ 委員

7 ページ『町内・町外の移動状況』を見ると、分類として「自動車」と「二輪車」があるが、定義上、原付や自転車はどちらに入るのか。

● 事務局

パーソントリップ調査では、「二輪車」に含まれている。なお、「二輪車」の定義は、自動二輪車、原動機付き自転車、自転車、電動アシスト付き自転車である。

○ 会長

4 ページ『鉄道』の3つ目のポツで、「JR 蟹江駅は、3 駅のなかで最も運行本数が少ないが、近年乗降客数が増加傾向にある」ということだが、理由が分かれば教えてほしい。運行本数自体は変わっていないのか。

○ 委員

昭和 62 年の国鉄から JR になった時分からすると増えてはいるが、最近数年の運行本数は増えていない。あとは、名古屋の中心部で再開発ビルがたくさん建ち、就業人口も増えていることが恐らく影響しているかと思う。

○ 会長

特別、何かが立地したということは。

○ 副会長

基盤整備をやっているので、それも関係があるのではないかと思う。

● 事務局

JR 蟹江駅の北側で約 18ha の土地区画整理事業を行っており、平成 26 年度に換地処分を終え段々人が住み始めたことで、鉄道の利用者が増加していることが想定される。区画整理以前の人口は 30 人強だったが、整理後は約 1,000 人弱の人口が定着している。

○ 委員

7 ページのパーソントリップ調査のデータは、平成 23 年度の資料である。『町内・町外の移動状況』の図を見ると、鉄道は 16% で少ない。それからだいぶ期間が空いているが、今現状はどれぐらいか。4 ページ『鉄道』を見ると、乗降客数は増加していると記載されているが、現在は多少増えているのか。

○ 会長

パーソントリップ調査自体、10年に1回の実施なので、次はこの10年後となるため、その中間で何か把握できるデータがあればよいが。

● 事務局

パーソントリップ調査は平成23年度ということで年次がかなり古いいため、データの更新については把握できる範囲でしていきたいと思うが、調査結果として公表されているものがあるということが前提になるので、一度事務局で精査する。

○ 委員

蟹江町は南部が市街化調整区域である。交通機関に関しては不便な感じがする。だから自動車利用が多いのだと思う。

○ 会長

道路のネットワークを見てもそう思われる。

3ページを見ると、全体的に交通量が多くて、それぞれの幹線道路の負荷がかなり高いと言えると思う。ほとんど主要な幹線道路が混雑度1を超えているので、負荷がかかっているのは事実である。南部のほうも混雑度が高く、それについても今後考えていかないといけないと思う。

○ 委員

4ページ『鉄道』の図で、近鉄の乗降人員の数字が載っているが、このグラフを見るとわかるように、平成27年度と28年度が12,304人だが、24年度、25年度、26年度は11,979人となっている。これは毎年度、乗降人員数を測っているわけではないため、1つ目のポツの文章では「平成28年度の駅別乗降数を見ると」と記載があるが、12,304人というのはあくまで27年度の数字であるので、誤解のないように。また、計測は、3年に1回ぐらいということでご理解いただければ。傾向をつかむには問題ないと思う。

○ 会長

2ページ『道路幅員』の表を見ると、幅員4m未満の狭隘道路が27.8%と他市町村と比べ非常に多い。防災上も良くない状況なのかと思うが、町として何か取り組んでいることはあるか。

○ 委員

現在、狭隘道路の対策について、検討をしているところである。

○ 会長

狭隘道路が多いところは、空き家も多いのか。

○ 委員

狭隘道路は旧市街地に非常に多くあり、どうしても空き家化することもある。それについても、空家等対策協議会で今後どのような形で対策を進めていくのか検討している。

(2) 今後のスケジュールについて

- ・事務局より資料2に基づき説明

[質疑応答：○…委員・オブザーバー、●…事務局]

○ 委員

今年度は戦略目標案まで作るということだが、目標年次をきっちりと設定すると、議論も具体的になるかと思うので、検討いただければ。

● 事務局

目標年次の設定について検討する。

○ 委員

・協議事項(1)に戻るが、資料1の7ページ『事故状況』を見ると、3つ目のポツで「死亡事故はJR蟹江駅の北側、重傷事故は、JR蟹江駅と近鉄蟹江駅の間」と記載があるが、これは事故発生時の位置情報にしか言及していない。もし、安全対策を進めるという観点で見ると、例えば事故発生時の道路・交通状況やそれを踏まえた対策について検討すると有益になると思う。

・資料1の3ページ『混雑度』の図を見ると、JR蟹江駅の少し東側の踏切が主要渋滞箇所の1つに選定されている。JR沿線より北側は発展してきて、北側と南側に各々ショッピングセンター的な施設もあるという中で、交通量は今後とも増えていくと思う。今、東西方向の道路網はあると思うが、南北方向が少し弱いように感じるため、こういった踏切については立体交差化に向け整備を進め、渋滞の解消や事故防止をお願いしたい。

○ 会長

今の意見は、第2回の協議会で問題点、課題の整理として加えてほしい。

○ 委員

現状運行されているお散歩バスや飛島公共交通バスの事業者へのヒアリングをきっちりして、ドライバーの肌感覚としてどういう道が混んでいるか、どういう時間帯で混んでいるかと

いうことも把握すると、より計画に反映できると思う。

○ 委員

近鉄蟹江駅の南側は、市街化区域になっており、その南は市街化調整区域である。その地区について、地元では今まちづくりの検討委員会をやっているので、行政にも協力をいただければ、まちが整備されれば、東西交通も整備されると思うので。

○ 会長

土地利用方針については、今後、都市計画マスタープランの検討で議論していくことになる。今回はまちづくりの方針の中の、特に交通の部門の計画を立てるということである。

● 事務局

今後、都市マスの改定作業を進める中で、土地利用方針について検討していく。

○ 委員

バスについて、町内で送迎バスを運行する企業の有無や、資料でそういったものが整理されているのかいないのか、分かれば教えていただきたい。

○ 副会長

町内や飛島村の企業が運行するバスは散見するが、データとしては把握していないので調べることができればいいと思う。

○ 会長

都市計画マスタープランの策定スケジュールはどうなっているか。

● 事務局

『2. 平成30年度策定スケジュール』の表の「関連計画」において記載のとおり、総合計画、都市計画マスタープランは平成32年度公表予定で策定作業を進めている。参考で配付した現況整理資料では、都市計画マスタープラン関係の現況整理もされているので、併せて確認していただきたい。

○ 会長

総合計画、都市計画マスタープランの今年度の会議開催状況は。

○ 委員

総合計画については、来年度になるが会議を開催する予定である。

なお、今は第4次総合計画、これまでのおさらいということで、アンケートを取って、次の総合計画策定のための事前の整理をしている段階である。

● 事務局

都市計画マスタープランについては、今年度中に1回委員会を開催する予定である。

なお、今はアンケート調査を実施し、課題の整理なども行っている。それを踏まえ、来年度以降は数回委員会を開催して進めていきたい。来年度は全体構想、再来年度は地域別構想、パブリックコメントを行って公表という流れを考えている。

○ 会長

総合計画と都市計画マスタープランの委員は重複するのか。本協議会の委員が入ることもあるのか。町民の関与は。

● 事務局

都市計画マスタープランについては、都市計画審議会の委員などを中心に見据えているため、総合計画とは多少委員編成は異なるかと思っている。現行の計画策定時の委員編成を踏まえ、今後検討していきたい。また、本協議会とは重複する形で多少検討していきたい。

○ 委員

総合計画については、町民の方を対象にワークショップを開催していきたい。

○ 副会長

委員編成は、総合計画についても今後検討していく予定である。現行の総合計画策定時と同様、ワークショップなどを開催し町民や議員と共に進めていきたい。また、都市計画マスタープランについては、交通戦略も非常に重要な計画であるため、本協議会のメンバーから委員に委嘱する可能性も視野に入れ、検討していきたい。

○ 会長

交通戦略は、総合計画、都市計画マスタープランとは非常に関連してくるため、並行して動くことになるということである。

4. その他

- ・特になし。

以上